

大月町観光協会 法人化のご挨拶

4月27日大月町役場
において通常総会
が行われ、法人として
スタートを切りました。



日頃は、大月町観光協会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
当会は令和3年4月1日付けで「一般社団法人 大月町観光協会」となり、新たに出発することとなりました。昭和30年頃に町や商工会の後援を受け団体を設立し、これまで関係機関の皆さまと共に大月町の観光産業の発展に寄与することを目的に活動してまいりました。今回の法人化を機に、より一層努力をしてまいりたいと思います。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

どうして法人化.....?

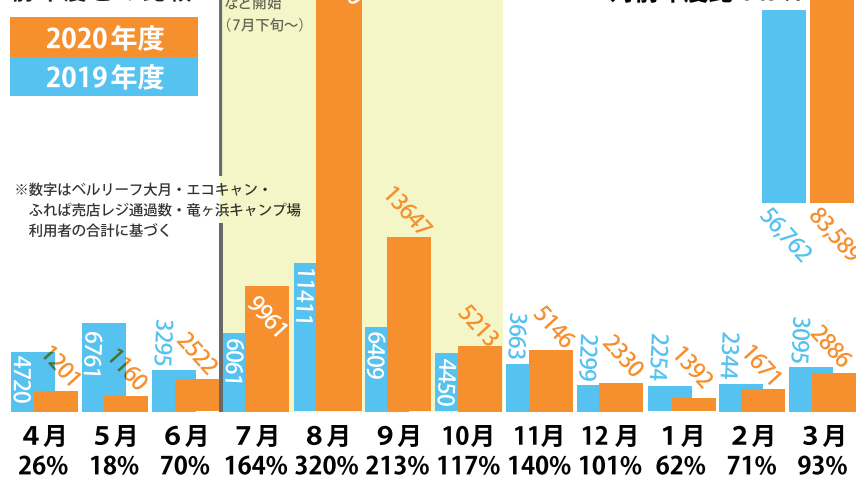
旧来の観光協会には法人格がなかったため、不動産の契約や借入が団体として行えず、歴代の会長の名義で契約を結ぶことが多く、交代になった場合に不都合が発生したり、個人に経済的な負担を背負わせてしまうといった問題があり、これが解消されます。また、規模の大きな案件が増えてくる中で、公益性や信頼性の面でも法人化を望まれていたこともあり、今回の法人化の実現に至りました。

一般社団法人 大月町観光協会 会長 安田理香

コロナ影響で明暗 キャンペーン効果は大

全国的な非常事態宣言や自粛要請の影響は大きかったものの、GoTo、リカバリー等のキャンペーンや、はた旅などのクーポンによる施策や、町内外の施設オープンなどの効果もあり、夏から秋にかけて大きく伸びました。しかしキャンペーン見直しや年末年始の自粛要請などの影響もあり、12月以降は冷え込みが見られます。今年度も見通しが立たない中、臨機応変な対応が求められます。

観光客入れ込み数
前年度との比較



ウインドファーム 風のたより

いつも大洞山ウインドファームをご愛顧いただきありがとうございます。今年度はコロナ禍ということもあり大規模なイベントはできませんが、感染予防対策をしながら、皆様に楽しんでもらえるイベントを企画しています。

第一弾は5月16日の一般開放日にスタンプラリーイベントを開催します。大洞山ウインドファームの魅力を皆様に知っていただけるようがんばりますので、よろしくお願いいたします！

今年度は月1回第三日曜日！ウインドファーム一般開放予定

5/16(日)|6/20(日)|7/18(日)|8/15(日)|9/19(日)|10/17(日)|11/21(日)|12/19(日)|1/16(日)|2/20(日)|3/20(日)



グーグルマイビジネス活用で集客UP!

多くのお客様が旅行中に情報を収集し、その情報を元に体験や飲食などの行動を現場で決める事が多くなっているようです。その際スマートフォンの検索を使う場合も多いようですが、Googleマイビジネスに登録すると、検索結果に営業時間や外観、口コミやメニューなどを表示させることで、お客さんにとって選びやすくすることができます。当協会では登録のアドバイスやお手伝いをさせていただきますので、気軽にお声がけください。

キャッシュレス対応お済みですか?

現金を持ち歩かない方が増えています。決済の手間も省略できるキャッシュレス化でお客様にとって支払いがしやすいお店になりませんか？興味がある方はぜひ観光協会まで！

竜ヶ浜キャンプ場通信

4月に行われた浜清掃には多くの会員様やボランティアの皆様にご参加いただき、おかげさまで今年も無事オープンすることができました。誠にありがとうございました。浜清掃はこれからも継続していきたいと考えておりますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。また、竜ヶ浜キャンプ場では、予約がとりづらいというお客様からの声にお応えし、ホームページの一新と同時にネット予約を開始しました。これからも利用しやすい環境を目指します。



協会・竜ヶ浜ホームページ二新 キャンプ予約もオンライン対応

大月町観光協会の法人化と時をおなしくして、

観光協会・竜ヶ浜キャンプ場それぞれのホームページがリニューアルされ、大きく鮮やかな写真が目飛び込んでくる大変魅力的なページになりました。なかでも体験メニューやテントサイトの予約をオンラインで受けられるようになったことで、夜間しか時間が取れなかったお客様からのご予約が増えるなど、すでに好評をいただいています。



一般社団法人
大月町観光協会
<https://otsuki-kanko.jp/>



竜ヶ浜キャンプ場
<https://ryugahama-camp.jp/>



新しい観光事業者が加入

大月町を訪れる観光客のニーズも、かねてから人気の釣りやダイビングなどのマリッジジャーにとどまらず、多種多様な広がりを見せております。そんななか、宿泊や新しいスタイルのアクティビティ、さらにはお土産として人気の食品の事業者様など、続々と新しい会員さんに加わっていただいておりますので、あらためてご紹介させていただきます。

令和三年度新規加入事業者

- 矢中 培雄（やなか屋）
- 米谷 勝市（柏島ヴィレッジ）
- 森下 誠（NPO法人大月地域資源活用協議会）
- 徳田 かつみ（徳田旅館）
- 奥宮 初喜（イカの奥宮）
- 目崎 拓真（公益財団法人黒潮生物研究所）
- 坂本 三成（Divers Cafe & Bar Time）

※敬称略・入会順

新旧分け隔てなく会員の皆様と手を取り合い、大月町の観光を盛り上げていきたいと考えております。応援のほどよろしく願っています。

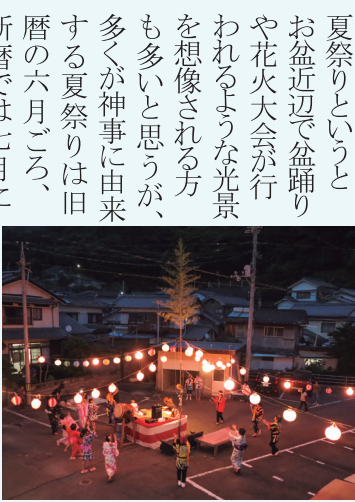
観光庁海外向けサイトにバナー

日本政府が海外観光客誘致に向け「日本では体験できない」アクティビティを紹介するサイト『Experiences in Japan』に当協会のラグーンレーシングが選ばれ掲載されました（掲載は韓国語版）。これを機に海外の視線が大月町に向き、多くのお客様が訪れることが期待されます。



大月歴史文化探訪ハック

「夏祭り宵の宮（樫ノ浦）」



夏祭りというとお盆近辺で盆踊りや花火大会が行われるような光景を想像される方も多いと思うが、多くが神事に由来する夏祭りは旧暦の六月ごろ、新暦では七月に行われる事も多い。特に夏季に漁業が盛んな地区では、船を使った大漁祈願の意味合いも濃いが、近年は人口流出やコロナの影響などもあり、神輿や踊りなどのある賑やかな夏祭りを行う地区は減ってしまった。

筆者が数年通った樫ノ浦地区の夏祭りは例年新暦の六月十五日に行われ、数年前までその前夜に賑やかな宵の宮が行われていた。婦人部たちが地区の中心の広場に太鼓を置く紅白の台を設置し、提灯の下でレコードの民謡や音頭に合わせて老若男女が踊る光景はいかにも夏祭りそのものの。

祭り終盤になると地区の祭りの当屋たち男衆が色気のある口説きを歌うのだが、踊り手はなぜか煌びやかなスバンコールつきのワンピースやひょうきんな衣装を決め込んでいるのがエニーク。ずっと昔からの恒例で、これが楽しみの一つだったとか。こういった

仮装の文化は町内外で見られる。持ち回りの長い長い口説き唄が終わると大きな拍手が湧きわたり、また樫ノ浦に静かな夜が返ってくる。



動画 樫ノ浦夏祭り (2016)